資料４-３

画像診断支援
中央画像診断報告

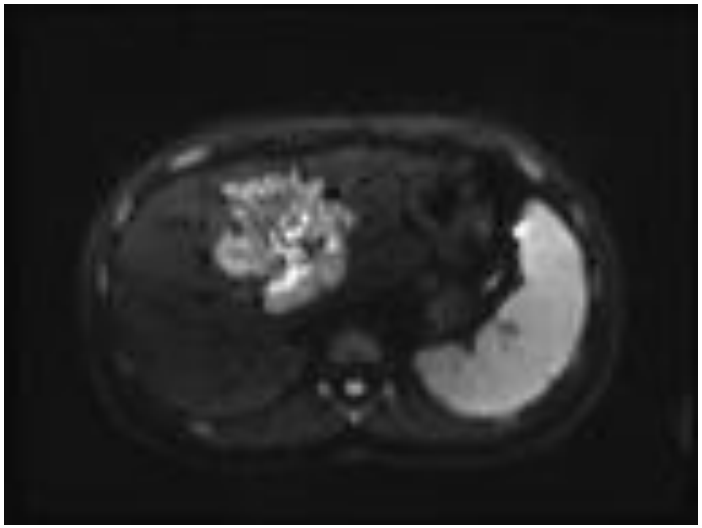
国立成育医療研究センター　放射線診療部
JCCG画像診断委員会　委員長
宮嵜　治

小児固形がんの治療

臨床研究の登録

神経芽腫、肝芽腫
横紋筋肉腫、Wilms腫瘍
ユーイング肉腫、脳腫瘍
胚細胞腫瘍

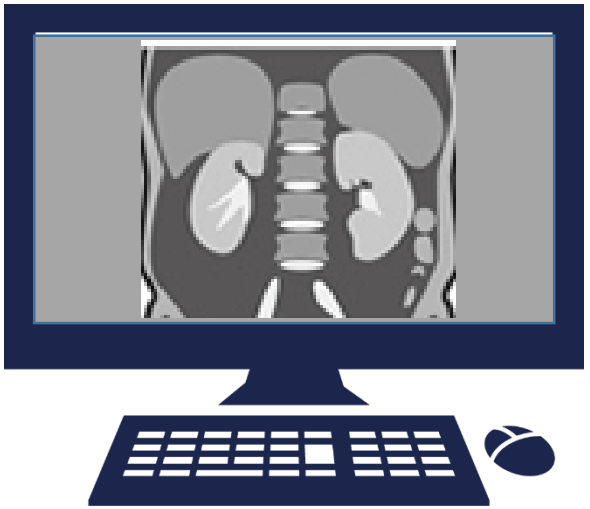
- 画像診断
- 重要なFactor



小児腫瘍科医、小児外科医のニーズ

肝芽腫

放射線科医の読影による
中央判定(staging)が必須

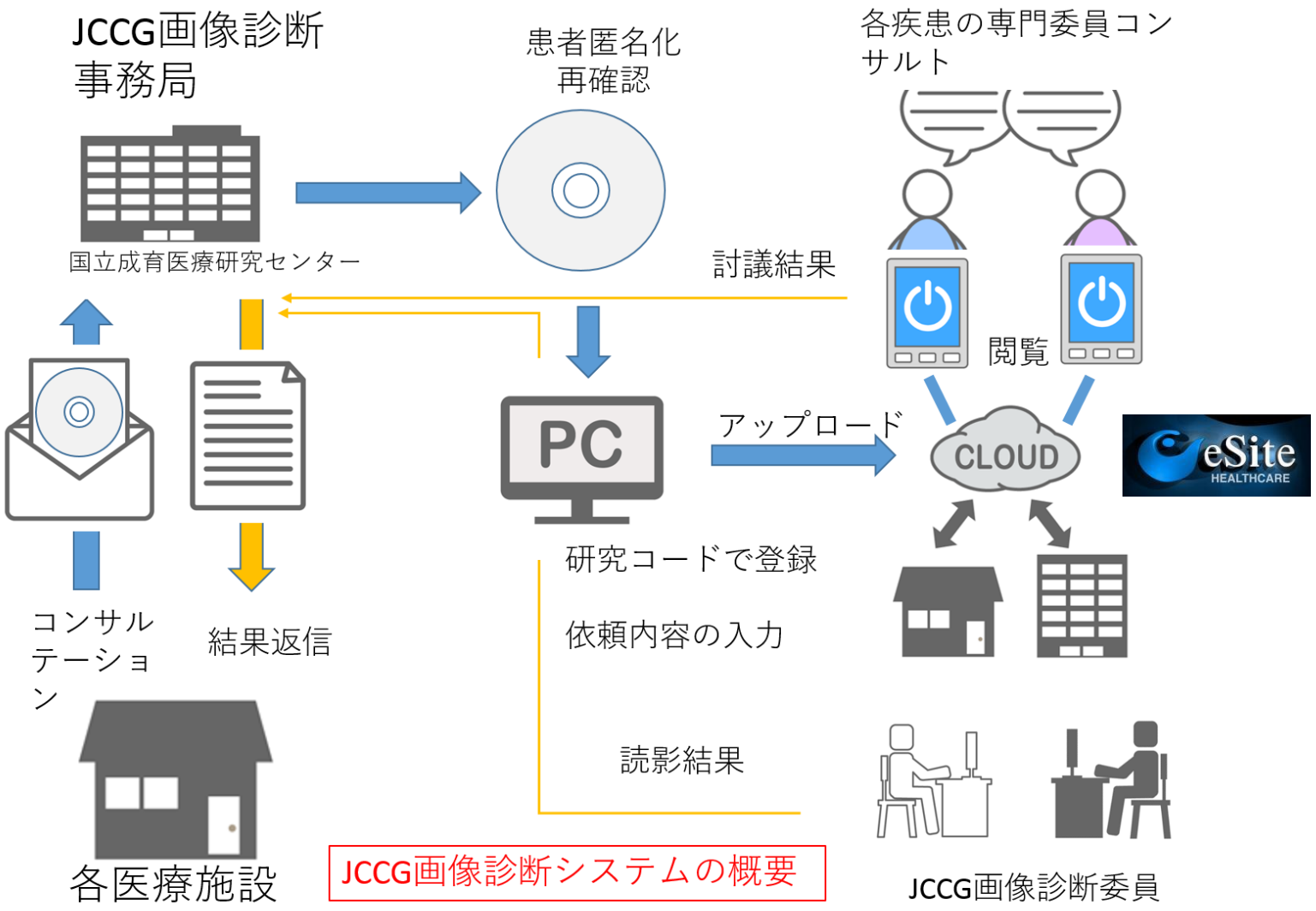


上衣腫

第3者による摘出度判定が必要

治療方針決定の討論に患者の過去画像と
放射線専門医の意見が欲しい

JCCG：画像診断のニーズに応えるには



JCCG画像診断システムの概要

画像診断の実際の業務

肝芽腫	治療前後のstaging：全例*
神経芽腫	consultation：必要例
横紋筋肉腫	consultation：必要例
脳腫瘍	腫瘍摘出度判定：全例*
ユーイング肉腫	consultation：必要例

*48時間以内の読影結果が求められる

5

JCCG
The Japan Children's Cancer Group

Radiology Committee

2019 version

読影医師分布図（H31年度）
合計20名の小児放射線科医

2019年上半期の中央画像診断業務実績　（4月1日～12月20日）

肝芽腫 ： 84症例　 236件

神経芽腫： 67症例　 85件

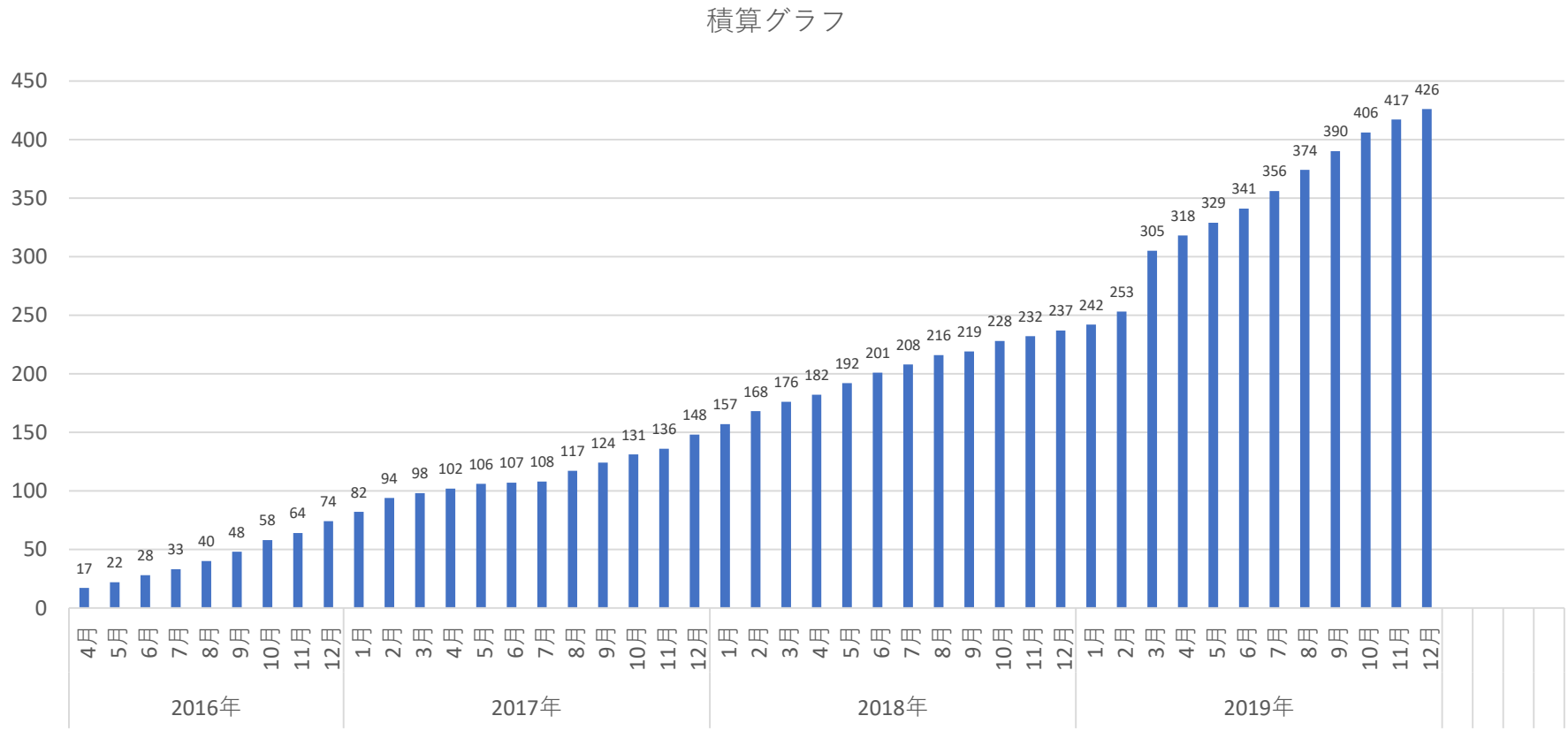
脳腫瘍（上衣腫）： 32症例　 32件（JCCG中央診断症例：23例　テスト9件）

横紋筋肉腫　 : 32症例　 50件（非正規3件、研究資料用1件含む

ユーイング肉腫 ： 10症例　15件（JCCG中央診断症例：10例　テスト1件　非正規2件含む）

腎芽腫： 3症例　 5件（JCCG中央診断症例：2例　非正規1件含む）

胚細胞腫瘍：3症例　 3件（研究資料用1件含む）

累計231症例　426件(2016年4月～2019年12月20日）

2016年業務開始以降の4年間の中央画像診断業務実績（2016年4月1日～2019年12月20日）